

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講					
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	単位数	2
使用教材	保健Ⅱ	出版社	社) 日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	板橋 喜子	実務経験	○		
実務内容	仙台市内サロンにて勤務。現在個人サロン経営専門学校にて実習、保健指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～5章)	筋系、神経系、感覚器系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第6章～8章)	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
5	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
6	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(皮脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能
8	総まとめ	テストを実施する
9	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属機関の保健
10	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属機関の疾患 (皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹)
11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属機関の疾患(日光皮膚炎～分泌異常による疾患)
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属機関の疾患(化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患)
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学(第6章)	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習(第1章～2章)	皮膚の構造と皮膚付属機関の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習(題3章～4章)	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属機関の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属機関の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属機関の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講					
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	単位数	3
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト: 50% 小テスト: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	奈良 哲 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容学校講師、美容室・エステサロン運営サポート				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<< 8章 エステティック >> 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	<< 9章 ネイル技術 >> 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テールセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	<< 10章 メイクアップ >> 1. メイクアップ概論2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論(サロワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カパーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング
6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュアップメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュアップメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章~10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	<< 11章 日本髪 >> 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、髷の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	<< 12章 着付けの理論と技術 >> 1. 着付けの目的2. 礼装3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ5. 帯6. 小物 7. 着物各部の名称8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウェディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁

13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプー・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度	
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度	
開講				
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	単位数
				1
時間数				30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。			
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。			
評価基準	テストおよび小テスト：80パーセント 授業態度：20%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	美容師国家資格			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員	三浦 敏彦	実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節	「美容師法」の目的
5	第3章 理容師法・美容師法 第2節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説

28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理	
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理	
開講				
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	単位数
				3
時間数				90
使用教材	衛生管理	出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面について理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加堂 沙織 他1名	実務経験	○
実務内容	NTT東日本東北病院外科病棟、やまだクリニック循環器内科にて看護師として勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な病気や生活習慣病など普段の生活に 近い話) 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康
4	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
7	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類
8	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
9	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編 感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編 感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編 感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実践
20	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等

21	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
22	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
23	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科		60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通じ、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加藤 比紗子		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	先輩や講師自身の話をする 美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する 教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な薬剤の話など)
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説

28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－A	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ－A	
開講				
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数
				2
時間数				60
使用教材	ワインディング教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	及川 ひろみ他4名	実務経験	○
実務内容	仙台市内美容室にて17年勤務、店長経験5年あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
3	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
4	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
5	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
6	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
7	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
8	ワインディング カット	ワインディング カット・美容師国家試験衛生
9	ワインディング カット まとめ	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
10	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
11	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
12	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
13	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
14	ワインディング・カット 総まとめ	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	2
時間数					60
使用教材	オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	横山 恵里他 6名	実務経験	○		
実務内容	仙台市内美容室にて勤務9年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウエーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウエーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウエーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウエーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
6	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイポール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7段構成 計測35～30分
11	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分
12	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分
13	オールウエーブセッティング	7段構成25分
14	オールウエーブセッティング	7段構成25分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－C	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ－C	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	90
使用教材	ワインディング教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート	出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する			
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する			
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%			
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格	美容師国家資格(実技)			
関連科目	美容技術理論Ⅰ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	横山 恵里他 6名	実務経験	○	
実務内容	仙台市内美容室にて勤務9年。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
2	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
3	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ カット まとめ	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
5	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
6	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
7	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
8	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
9	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
10	ワインディング カット テスト	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
11	ワインディング カット	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ カット 総まとめ	ワインディング・カット 美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D	
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	90
使用教材	オールウエーブ教材一式 シャンプー教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート	出版社	公益財団法人美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する			
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する			
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%			
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 			
関連資格	美容師国家資格(実技)			
関連科目	美容技術理論Ⅰ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員	及川 ひろみ他4名	実務経験	○	
実務内容	仙台市内美容室にて17年勤務、店長経験5年あり。			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
6	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング まとめ シャンプーイング まとめ	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
8	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング 総まとめ シャンプーイング	オールウエーブセッティング シャンプーイング・美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング 総まとめ シャンプーイング 総まとめ	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	3
時間数					90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ・カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の5分の4以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	及川 ひろみ他4名	実務経験	○		
実務内容	仙台市内美容室にて17年勤務、店長経験5年あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅱ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	ヘアメイク科		1
使用教材	カメラ機材・筆記用具・ノート・ファイル		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	作りたいヘアメイクのデザインには、どのようなライトやバック紙を選択すれば良いかを知る				
到達目標	バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る 様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅰ、美容実践Ⅰ				
備考	美容実践Ⅰは学校ごとに異なります				
担当教員	岩瀬 理奈	実務経験	○		
実務内容	フリーカメラマンとして、モデル撮影などで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
3	白バック紙にて撮影②	
4	白バック紙にて撮影③	
5	黒バック紙にて撮影①	
6	黒バック紙にて撮影②	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
7	黒バック紙にて撮影③	
8	野外のロケーションにて撮影①	
9	野外のロケーションにて撮影②	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
10	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
11	カラーバック紙にて撮影②	
12	カラーバック紙にて撮影③	
13	作品制作①	テスト
14	作品制作②	自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
15	総合授業	まとめを行う
16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる (検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践するたたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践するたたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ	
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策Ⅱ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科・ヘアメイク科	1
使用教材	就職ガイドブック		出版社	自校作成

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける			
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている。			
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%			
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者			
関連資格				
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。			
担当教員	佐藤 いずみ 他1名	実務経験	○	
実務内容	埼玉・仙台にて5年間美容師の仕事に従事し美容師仕事の他、ブライダル分野にも携わる			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的	・就職指導を行う目的を理解
2	言葉遣い	・言葉遣い、敬語の使い方
3	自己分析	・自分が希望する就職先、職務内容について再確認する
4	自己PR	・自己PR内容の見直し、ブラッシュアップ
5	書類選考対策	・就職活動で必要な書類（履歴書やエントリーシート等）のパターンと対策
6	面接対策	・面接対策、オンライン形式・対面形式それぞれでのポイント
7	ビジネスマナー	・ビジネスメール
8	一般常識	・一般常識対策
9	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)のポイントを説明、理解する
10	商品プレゼン	・おすすめ商品をピックアップし、商品紹介(プレゼン)内容を考える
11	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
12	商品プレゼン	・商品紹介(プレゼン)
13	テスト	・前期末試験
14	SNSについて	・SNSのマナー
15	まとめ	・前期総まとめ
16	前期の振り返り	・前期の振り返り
17	働く意義	・何のために働くか
18	人間力	・社会人として求められていること
19	人間力	・愛される人材とは
20	自分の理想像	・自分の理想とする社会人像とは
21	目標設定	・2年生後期～5年後の目標設定
22	接客マナー	・社会人として備えるべきマナーについて
23	電話対応	・電話対応の方法
24	来客対応	・来客時の対応方法
25	一般常識	・就業するにあたって理解すべき言葉について(就業規則・社会人としての知識)
26	ケースワーク①	・事例を上げ、原因と対応について考える
27	ケースワーク②	・事例を上げ、原因と対応について考える
28	テスト	・後期末試験
29	後期まとめ	・後期のまとめ、振り返り
30	総まとめ	・2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	5
使用教材	ヘアメイク実習に必要な道具一式			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	サロンテクニック・特殊メイク：ヘアメイクとして必要な技術と立ち居振る舞いなどを習得				
到達目標	サロンテクニック：ヘア全般の技術と知識やサロンワークに必要な知識を習得。				
評価基準	ヘア・メイク実習：テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	サロンテクニック・特殊メイク：なし				
関連科目	ヘアメイク実践Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	菊池 大 他1名	実務経験	○		
実務内容	仙台市内サロンにて10年勤務したのち2011年に独立。サロンワークの他、カメラマンとしてウエディング、モデルの宣材撮影、各種イベント等の記念撮影などの活動も行っている。クリエイティブ撮影において各種コンテストノミネート、受賞歴も多数。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンテクニック	15回を通じたコースの流れ、目的、最終目標、評価基準、マナー、ルールの確認
	特殊メイク	授業の流れ・目的・最終目的・評価・ルールの確認 ポディペイント
	着付け	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票
2	サロンテクニック	《目標》シャンプーが気持ち良くなければいけない理由を知って上手なシャンプーを習得する
	特殊メイク	傷メイク
	着付け	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	サロンテクニック	《目標》夏休みまでに家族、友人のカラーリングをできるようになる
	特殊メイク	舞台メイク導入・デザイン画作成
	着付け	小紋の着付け(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	サロンテクニック	色の仕組み、カラー剤の仕組み、カラー剤の種類の違い、調合の考え方、塗り方
	特殊メイク	舞台メイク 娘役
	着付け	小紋の着付け(お端折の作り方)を学び実践する
5	サロンテクニック	ウィッグまたは相モデルでカラー塗布(3人1チームで2人モデル)
	特殊メイク	舞台メイク 男役
	着付け	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する
6	サロンテクニック	《目標》ドライ、ハンドブロー、ブラシブロー、アイロン・コテの違い、使い分けを知る
	特殊メイク	キャラクターメイク(骸骨)
	着付け	小紋の着付けを仕上げる(検定対策)
7	サロンテクニック	《目標》アレンジで使う技術(アイロン・コテ・ピン・ゴム)を学びアレンジしてみる
	特殊メイク	アニマルメイク
	着付け	小紋の着付けを仕上げる(検定対策)
8	サロンテクニック	カットラインとオーバードイレクションの理解、姿勢、レイヤーと切りっぱなしボブの違い
	特殊メイク	特殊メイク課題技術テスト
	着付け	小紋の着付けを仕上げる(検定対策)
9	サロンテクニック	レイヤーと切りっぱなしボブのレクチャーと実践
	特殊メイク	ポディジュエリー デッサン
	着付け	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	サロンテクニック	毛量調整理論、実践、スタイリングとスタイリング剤で仕上げ
	特殊メイク	錯覚メイク各種 デッサン
	着付け	着付け3級検定(小紋の着付けと蝶結び(20分))を実施する

11	サロンテクニック	実際に切ったウィッグを使ってダブルカラー
	特殊メイク	老人メイク デッサン
	着付け	着物の名称と用語（プリント①②）について
12	サロンテクニック	ダブルカラーを使った実践（インナー、ピアス、すそ、ハイライトなど好きなデザインで）
	特殊メイク	化粧品検定対策①
	着付け	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	サロンテクニック	パーマの理論、パーマ液の違い、毛量調整の法則、相モデルで前髪にパーマをかけてみる
	特殊メイク	化粧品検定対策② / 肌知識筆記テスト
	着付け	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	サロンテクニック	一台のウィッグをカット、カラー、スタイリングで今っぽいデザインに仕上げる
	特殊メイク	オリジナル作品制作①
	着付け	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	サロンテクニック	わかりにくかった部分や掘り下げたい部分を復習
	特殊メイク	オリジナル作品制作② テスト
	着付け	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ	
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅱ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	90
使用教材	ヘアメイク実習：実習に必要な道具一式 着付け：着付け道具一式		出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアメイク実習：ヘアメイクとして必要な技術と立ち居振る舞いなどを習得 着付け：着付けの基礎と知識を学ぶ		
到達目標	ヘアメイク実習：撮影を通して、ヘア・メイク・ファッションのトータルバランスを見る力を養うと共に、実際のヘアメイクの現場の空気感やモデルに対しての気遣いや配慮を学ぶことが出来る。 着付け：着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、着付け3級（強制）着付け2級（免許任意）を取得することが出来る。		
評価基準	ヘアメイク実習：テスト30%、授業態度40%、撮影作品40% 着付け：テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	ヘア・メイク実習：なし 着付け：一般社団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格		
関連科目	ヘアメイク実践Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	森川整 他2名	実務経験	○
実務内容	株式会社Lico「Lita」代表。Hot Pepper Beauty東北4年連続売上一位。多数の売れるスタイリスト育成中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ヘアメイク実習	実際のヘアメイクの現場を想定して、モデルを使った撮影のデモンストレーション。ヘアメイクや衣装のコーディネート、撮影までを担当講師が0から作り上げる様子を生徒に見せる。
	着付け	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	ヘアメイク実習	衣装は無しでデコルテから上での撮影。テーマに合わせてメイクだけでモデルをどのように表現していくかを学ぶ。
	着付け	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	ヘアメイク実習	衣装は無しでデコルテから上での撮影。テーマに合わせてヘアとメイクだけでモデルをどのように表現していくかを学ぶ。
	着付け	判定試験対策（プリント⑥～⑨）テストを実施する
4	ヘアメイク実習	様々な素材やスタイリング剤を使った質感の表現方法をレクチャー。想像力を駆使し日常にある素材（文房具、アルミ、金属、紙、布、花、おもちゃ等）を使いクリエイティブスタイルを作る。
	着付け	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
5	ヘアメイク実習	様々な素材やスタイリング剤を使った質感の表現方法をレクチャー。想像力を駆使し日常にある素材（文房具、アルミ、金属、紙、布、花、おもちゃ等）を使いクリエイティブスタイルを作る。前回と同様であるが、精度とスピードを上げていく。
	着付け	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
6	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。テーマに合わせてヘアメイク・ファッションでモデルをどのように表現していくかを学ぶ。
	着付け	振袖の着付を仕上げる（検定対策）

7	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。テーマに合わせてヘアメイク・ファッションでモデルをどのように表現していくかを学ぶ。前回と同様にはなるが、精度とスピードを上げていく。
	着付け	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	ヘアメイク実習	天気や、太陽の光の条件下、ロケ場所での起こりうる変化の中での撮影の仕方やモデルのケア（配慮や気遣いを学ぶ）
	着付け	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
9	ヘアメイク実習	天気や、太陽の光の条件下、ロケ場所での起こりうる変化の中での撮影の仕方やモデルのケア（配慮や気遣いを学ぶ）
	着付け	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。和装（着物）をヘアメイクでクリエイティブスタイルに。
	着付け	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する
11	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。和装（着物）をヘアメイクでクリエイティブスタイルに。前回と同じ内容にはなるが、スピードと精度を上げていく。
	着付け	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
12	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。アイモデルではなく外部モデルを使用。
	着付け	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
13	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。アイモデルではなく外部モデルを使用。前回と同じ内容にはなるが、スピードと精度を上げていく。
	着付け	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。自主制作（最終作品）
	着付け	女袴の着せ方について学び実践する
15	ヘアメイク実習	ヘア・メイク・ファッションのトータルコーディネートでの撮影。自主制作（最終作品）
	着付け	国家試験対策として総まとめのテストを行う